

活 動 報 告 書

「地域で子どもを育む環境づくり」

～地域の連携・協働の推進～

令和3年3月23日

吉田町社会教育委員

1011

令和3年3月23日

吉田町教育委員会
教育長 山田 泰巳 様

社会教育委員長 長谷川 敦巳



活動報告書

テーマ「地域で子どもを育む環境づくり」

～地域の連携・協働の推進～

1 はじめに

近年、地域社会は人口減少、少子高齢化が急速な勢いで進行しております。また、核家族化や単親世帯の増加による人と人とのつながりの希薄化など、さまざまな課題に直面しております。このような社会情勢の変化により、子どもを取り巻く環境も大きく変化し、家庭や地域の教育力の低下が指摘されているところです。

さらに、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、町内の小・中学校は約2か月の長期休校を余儀なくされ、社会教育事業においても地域の方が中心となって子どもたちと一緒に活動する交流事業や体験事業等も自粛することとなり、当たり前だった生活を奪い去りました。

これらの背景を踏まえ、吉田町の未来を担っていく子どもたちが、安心して健やかに成長していくために、地域で子どもを育む環境を整備していくことがより一層重要となると考えます。

また、吉田町教育委員会は、令和2年3月に「吉田町教育大綱」を策定し、「生涯にわたり学びあい高めあう人づくり」を教育目標として、その中の社会教育に係る重点施策の一つ「地域の子どもは地域で育てる」ことを掲げ、まちぐるみで子どもを育む体制づくりを推進しています。

2 社会教育委員の取組

社会教育委員は、教育を取り巻く課題が多様化・複雑化する中で、平成17年度から一貫して「子どもの健全育成」を大きな柱として環境の変化に対応した「社会教育のあり方」について話し合い、2年ごとに教育委員会へ提言等をしてきました。前回の平成31年3月には「子どもを育む環境づくりとして、新たに社会教育関係団体が一堂に会し、交流を図るイベントの実施」を提言しました。

そのイベントについては、実施に向けて社会教育プラットフォーム「つながろうよしだ」(下記参照)で参加団体から様々な意見や提案をいただき、社会教育委員会(年6回)において議論を重ねてきました。現在、イベントの開催時期や場所を決定し、今後は、内容等細部に至るまで話を詰め、令和4年の実施に向けて準備を進めています。

(1) 社会教育プラットフォーム「つながろうよしだ」

社会教育プラットフォームは、社会教育委員会において「当町で活躍している社会教育団体が集まり、情報交換やネットワークを広げる『吉田町社会教育プラットフォーム』の実施」を平成27年3月に提言し、平成28年3月から実施しています。

この「プラットフォーム」は、車両などの発着場といった意味のほかに「土台」や「基盤」といった意味があります。子どもの健全育成を行うに当たり、社会教育の基盤をしっかりとものにしたいという意味を込めて「社会教育プラットフォーム」と名付けました。

また、社会教育プラットフォームをもっとなじみやすく、他団体との横のつながりや結びつきを強固にするために、事業名を「つながろうよしだ」としています。

令和2年度末時点で「社会教育プラットフォーム」は、8回実施し、多くの社会教育関係団体の皆さまにご参加いただきました。グループ協議の中では、各団体の現状や課題、さまざまな意見や提案等をいただきました。(参考資料①参照)

(2) 地域学校協働本部（学校応援団）

社会教育委員は、青少年健全育成の観点から各地区の地域教育推進協議会など地域の活動に参加するほか、地域と学校を結ぶ地域学校協働本部「吉田町学校応援団」のコーディネーターを務めています。学校応援団においては、私たちができる範囲で、授業の補助や託児等ボランティアとしても活動しています。（参考資料②参照）

3 社会教育関係団体の連携・協働体制の構築

社会教育プラットフォームでは、参加者が顔を合わせ、交流を重ねることで、団体同士の連携も生まれました。各地区の地域教育推進協議会（住吉わっぱくらぶ、かわしりっ子わんぱくサークル、片岡きらめき塾、自彊わくわく教室）では、4地区が連携したイベントを年3回実施しています。そのほか、文化協会が主催する文化祭では、チャレンジ教室に参加する子どもたちの発表や社会教育関係団体のPRブース設置のためのスペース確保等、社会教育プラットフォームの中で団体からの意見や提案等から社会教育関係団体が相互に連携・協働することが見受けられるようになりました。このような活動は、子どもを育む体制の強化につながっているものと考えています。

また、全国的に展開されている「コミュニティ・スクール」においては、「地域とともにある学校」として、地域の力が求められています。今後は、地域学校協働本部体制の更なる強化と社会教育関係団体の連携・協働体制の構築が地域の教育力の向上の基盤を支えるものと考えます。

4 地域で子どもを育む環境づくりの推進

私たち社会教育委員は、新たなイベント開催を含め、社会教育関係団体が手と手を結び合い、互いに連携・協働することで地域の教育力向上につなげ、まちぐるみで子どもを育む環境づくりの構築を一層推進していきます。

令和元年度・2年度 吉田町社会教育委員

(任期 平成31年4月1日～令和3年3月31日)

長谷川 敦 己 (委員長) 杉 山 俊 夫 (副委員長)

増 田 好 乃 野 中 富 子

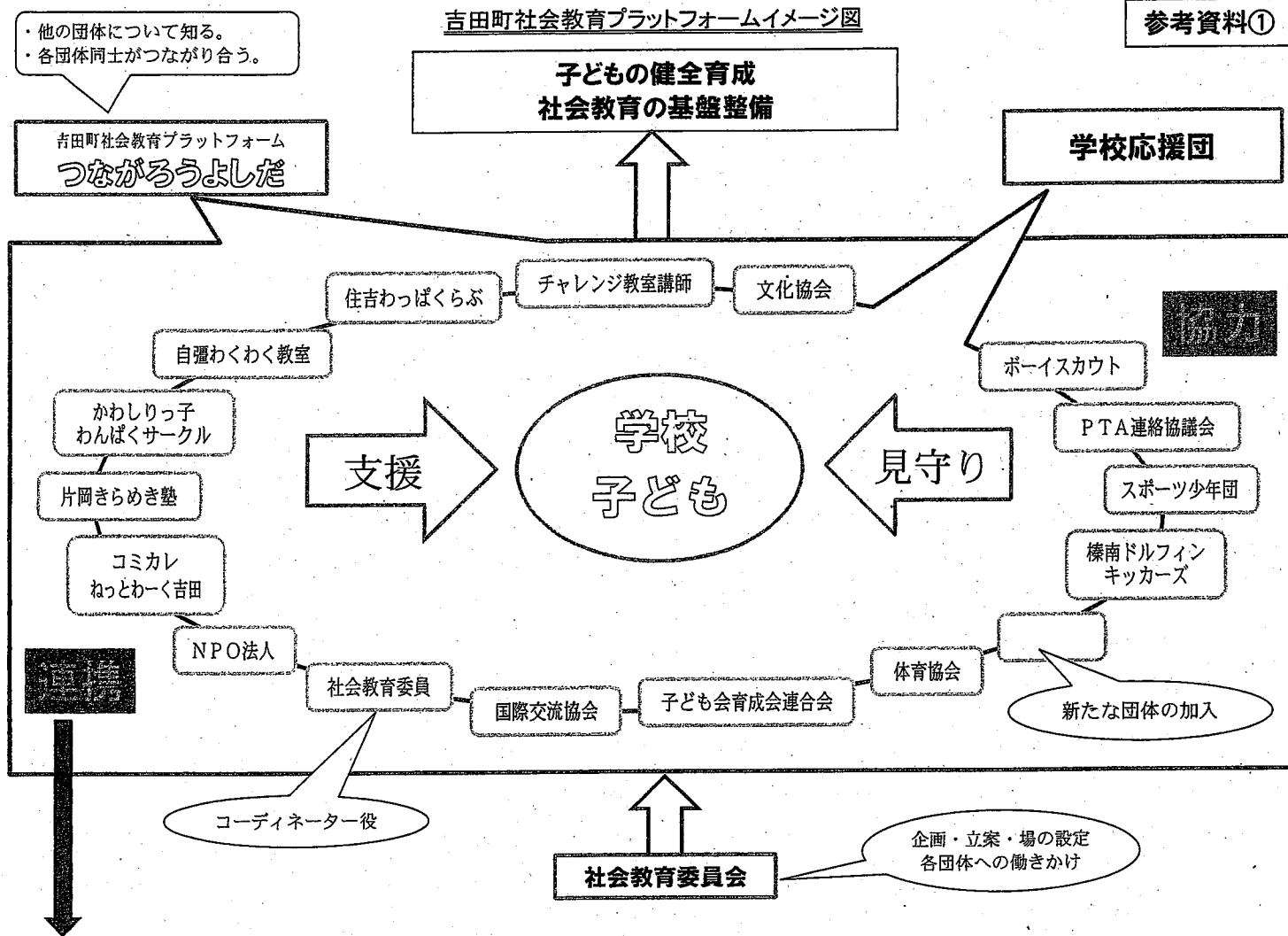
木 村 志 朗 柳 原 友 子

菅 澤 路 子 藪 田 省 次

山 村 多可雄 岩 本 幸 子

【参考資料】

- ①・吉田町社会教育プラットフォーム イメージ図
- ・これまで実施した社会教育プラットフォーム（第1回～第6回）
 - ・「第7回つながろうよしだ」実施報告書
 - ・「第8回つながろうよしだ」実施報告書
- ②社会教育委員がコーディネーターとなった活動・協力した活動例



連携とは・・・団体同士が手をつなぎ合うこと！！

全部手つなぎ型

(最初から最後まで全て連携)

《具体例》

事業の企画から運営まで連携

連携団体：

- ・住吉わっぱくらぶ
- ・かわしりっ子 わんぱくサークル
- ・片岡きらめき塾
- ・自彊わくわく教室

連携内容：

・4地区合同の協議会を開き、イベント内容から役割分担まで計画し、当日の運営も行う。

<メリット>

- ・各地区だけではできないダイナミックな活動ができる(地引網)
- ・参加者に対するきめ細かな配慮(ファミリーウォーク)
- ・幅広い企画(天体観測)

人数が多く、やりたいことができる

一部手つなぎ型

(部分的な連携)

団体の特色を生かした連携

連携団体：

- ・地域教育推進協議会
- ・スポーツ推進員

連携内容：

・4地区合同地域教育推進協議会主催のファミリーウォークの随行班としてスポーツ推進員に依頼

<メリット>

- ・体力があり、歩き方等の知識のあるスポーツ推進員の特色を生かせる
- ・スタート前に歩き方について専門的な指導を行うことができる
- ・随行班に入ってもらうことで、地推協のスタッフが別の部分で活躍できる

自分たち団体の強みを生かせる

参加者として連携

連携団体：

- ・文化協会とチャレンジ教室
- ・地域教育推進協議会とボーイスカウト

連携内容：

・文化協会主催の文化祭に出演、出品
・地域教育推進協議会主催のファミリーウォーク、地引網に参加

<メリット>

- ・参加者の人数が増える
 - ・各団体の発表の場となる(文化展、芸能祭)
- 参加することで団体として楽しめる

実施している活動に参加するので連携しやすい

※情報交換も立派な連携です。
他団体にとって有効な情報を提供するだけというのも連携のひとつです。

これまで実施した社会教育プラットフォーム

- 第1回 平成28年3月13日(日)午前9時～ 中央公民館 3階講習室
参加人数27人
①参加団体自己紹介 ②グループワーク「それぞれの団体の課題について」
- 第2回 平成28年7月31日(日)午前9時～ 中央公民館 ホール
参加人数29人
①参加団体活動紹介 ②グループワーク「参加者を増やすために」
- 第3回 平成29年2月5日(日)午前9時～ 中央公民館 ホール
参加人数24人
①参加団体活動紹介 ②グループワーク「後継者・会員を増やすためにどうしたらよいか」
- 第4回 平成29年9月2日(土)午後3時～ 川尻会館 第1・2会議室
参加人数23人
①自己紹介及び参加団体活動紹介 ②全体会「互いの連携について」
③情報交換会
- 第5回 平成30年2月17日(土)午後3時～ 川尻会館 第1・2会議室
参加人数29人
①自己紹介及び参加団体活動紹介 ②グループワーク「効果的なPR方法とは」 ③情報交換会
- 第6回 平成30年9月1日(土)午後3時～ 川尻会館 第1・2会議室
参加人数36人
①自己紹介及び参加団体活動紹介 ②グループワーク「みんなで大連携をしよう～社会教育団体の大連携をイメージしたイベント等を考える～」 ③情報交換会

吉田町社会教育プラットフォーム 「第7回つながろうよしだ」実施報告書

- 1 目的 子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中で、地域で子どもたちを育む必要があることから、子どもたちに関わる社会教育関係団体が、相互に連携・協力することで子どもたちを健全に育むと同時に、それぞれの団体同士が結びつくことによって、お互いの課題解決ができる関係を築くことを目的に「第7回 つながろうよしだ」を実施する。
- 2 日時 令和元年8月31日(土) 15:00~17:00
- 3 場所 川尻会館 第1・第2会議室
- 4 参加者 30人
- 5 内容

(1) 開会	15:00
(2) 教育長あいさつ	15:01
(3) 委員長あいさつ	15:05
(4) 趣旨・経緯説明	15:08
(5) 自己紹介及び団体活動紹介	15:11
～ 休憩 ～	15:30
(6) 社会教育委員の提言書について	15:40
(7) 説明(テーマ解説、進め方、留意事項)	15:50
(8) グループ協議	15:55
テーマ「大連携を進めるにあたりイベントの具体的な内容を考えよう」	
(9) 発表	16:50
(10) まとめ(委員長)	17:04
(11) 閉会	17:05

6 総括

吉田町社会教育プラットフォーム「つながろうよしだ」は、今回7回目を迎えた。

これまでの社会教育プラットフォームでは、参加者から地域・団体の問題や課題などを出していただき、解決に向けて話し合い、多くの意見やアイデアが出されてきた。社会教育委員会では、その意見を取りまとめ、一定の方向性を決め、平成31年3月に提言書を提出した経緯がある。

今回は、その経緯や提言書の内容を説明し、情報共有をした後、グループ協議を実施した。グループ協議では、4つのグループに分かれ「大連携を進めるにあたりイベントの具体的な内容を考えよう」と題し、活発な意見が交わされ、各グループからは、大連携のイベントについてさまざまなアイデアが出された。

今後は、今回出された意見を社会教育委員会の中で取りまとめ、大連携イベントの実施に向けて方向性を決めていく。

吉田町社会教育プラットフォーム

「第8回つながろうよしだ」実施報告書

- 1 目的 子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中で、地域で子どもたちを育む必要があることから、子どもたちに関わる社会教育関係団体が、相互に連携・協力することで子どもたちを健全に育むと同時に、それぞれの団体同士が結びつくことによって、お互いの課題解決ができる関係を築くことを目的に「第8回 つながろうよしだ」を実施する。
- 2 日時 令和2年2月15日（土）15：00～17：00
- 3 場所 川尻会館 第1・第2会議室
- 4 参加者 25人
- 5 内容

(1) 開会	15：00
(2) 教育長あいさつ	15：01
(3) 委員長あいさつ	15：05
(4) 趣旨・経緯説明	15：09
(5) 参加団体活動紹介（自己紹介）	15：13
～ 休憩 ～	15：43
(6) 説明（テーマ解説、進め方、留意事項）	15：50
(7) グループ協議	16：00
テーマ「令和3年度の実施予定のイベントを企画しよう」	
(8) 発表	16：45
(9) まとめ（委員長）	16：57
(10) 閉会	17：00

6 総括

吉田町社会教育プラットフォーム「つながろうよしだ」は、今回8回目の実施となった。

平成26年度から実施している社会教育プラットフォームでは、参加者から地域・団体の問題や課題などを出していただき、解決に向けて話し合い、多くの意見やアイデアが出されてきた。社会教育委員会では、その意見を取りまとめ、平成31年3月に「大連携のイベントの実施」について提言書を教育委員会へ提出した経緯がある。

今回は、大連携のイベントについて社会教育委員会の中で決めた骨子案を出し、グループ協議を実施した。グループ協議では、4つのグループに分かれ「令和3年度の実施予定のイベントを企画しよう」と題し、活発な意見が交わされ、ある程度方向性（別紙1）を決めた。今後も社会教育委員会、社会教育プラットフォームの中で話し合いをしながら進めていく。

令和3年度実施予定のイベントを企画しよう(まとめ)

<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会教育」に関心をもってもらう ・各団体のPRの場にする 		
<p>時期</p>	<p>夏(7月、8月) →親子で参加してほしいので 土日祝日</p>	<p>場所</p>	<p>総合体育館</p>
<p>活動内容</p>	<p style="text-align: center;"><u>子どもが楽しめるもの</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体験型・参加型のイベント <ul style="list-style-type: none"> ① 各団体がブースを担当する or ② 体験ブースの担当を決めて団体に依頼 ・各団体が担当した方がまとまりやすくPRにもなる →スタンプラリー、町内企業の紹介も、「食・体験・スポーツ」、ステージも使う ○ 活動紹介(掲示、募集案内、実演等) →パネル展示、配布資料、写真など活動記録、掲示だけの参加も可能に △表彰 →評価基準、価値基準が難しい、それぞれの立場で頑張っているのを統一して評価するのはどうか?、対象範囲が広すぎる、知っている人のみになってしまう 		<p>時間の目安</p> <p>→早すぎる時間 遅くまでの時間 はどうか</p>

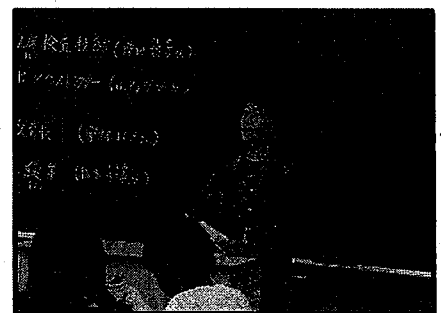
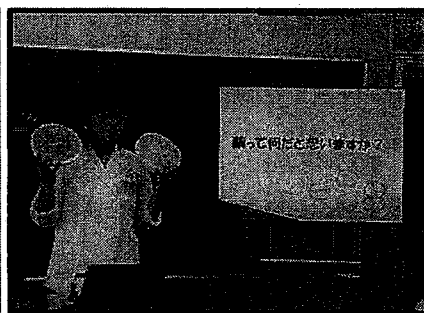
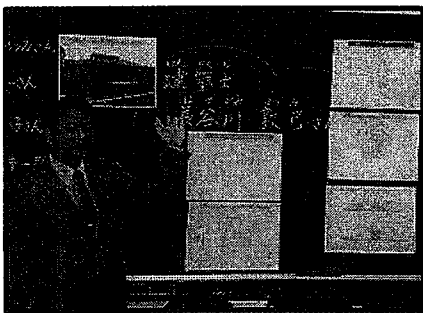
社会教育委員がコーディネーターとなった活動・協力した活動例

キャリア教育

コーディネーター：野中委員、社会教育専門職員
協力：はなみずき薬局飯田さん、山内さん、
松本さん、長谷川委員長、増田委員

～活動の内容～

さまざまな職業に従事している方のお話を聞くことで、将来に向けた夢や希望をもつ。



薬剤師、スポーツインストラクター、養鰻業、公務員、建築士、臨床検査技師の方々にお話をさせていただきました。それぞれの分野でエキスパートの方々です。皆さんのお話はとても興味深く、子どもだけでなく先生方も食い入るように聞いていました。質問もたくさんあり、充実した活動となりました。

持久走記録会補助

コーディネーター：社会教育専門職員
協力：藪田委員、菅澤委員、柳原委員

～活動の内容・目的～

応援待機場所にいる児童の見守りとゴール後の児童整列を手伝う。



社会教育委員さんに持久走記録会の補助をお手伝いいただきました。皆さんにお手伝いいただいたおかげで、先生方はそれぞれの役割に集中することができたと思います。子どもたちの応援もしていただき、ありがとうございました。

手縫い見守り

コーディネーター：野中委員

協力：生涯学習教室

～活動の内容～

初めて行う手縫いの学習
の見守りをする。



初めて行う手縫いの授業。子どもたちは針に糸を通すところから四苦八苦。でも、ボランティアさんが優しく教えてくれるので、並縫いがとても上手になりました。子どもたちからの「また来てね～」はうれしかったです。

ミシン見守り

コーディネーター：野中委員

協力：生涯学習教室

～活動の内容～

5年生は初めてのミシンなので、
ミシンの使い方と安全見
守りをする。



初めてミシンを使う子どもたち。糸の準備がうまくいかず苦労しましたが、そこはさすがボランティアさん。優しく丁寧に教えてくれました。縫い始めるとボランティアさんのアドバイスを吸収し、どんどん上手になる子どもたち。ミシンの基礎はもうばっちりですね。

環境整備

コーディネーター：長谷川委員

協力：三輪美由紀さん 他数名

～活動の内容～

夏の間伸びた草を刈り、
子どもたちが活動しやすい環境を作る。



「自分たちの母校が草だらけなのは嫌だからね～」と地域住民の皆さんが学校の環境整備を進んでやってくれました。暑い時期でしたが、何日間もかけて学校をきれいにし、子どもたちが通る道は、枝を払ってくれました。

